

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	岩手県立農業大学校
設置者名	岩手県

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
本科	農産園芸学科	夜・通信	(農産経営科) 63単位	6単位	
		夜・通信	(野菜経営科) 63単位	6単位	
		夜・通信	(果樹経営科) 63単位	6単位	
		夜・通信	(花き経営科) 61単位	6単位	
	畜産学科	夜・通信	(酪農経営科) 38単位	6単位	
		夜・通信	(肉畜経営科) 38単位	6単位	
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

岩手県立農業大学校ホームページにて公表 https://www.pref.iwate.jp/agri/noudai/gakkosyokai/2001554/index.html
--

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-②【(2)-②外部の意見を反映することができる組織への外部人材の複数配置】

※ 様式第2号の2-①に掲げる法人以外の設置者（公益財団法人、公益社団法人、医療法人、社会福祉法人、独立行政法人、個人等）は、この様式を用いること。

学校名	岩手県立農業大学校
設置者名	岩手県

1. 大学等の教育について外部人材の意見を反映することができる組織

名称	岩手県立農業大学校外部評価懇談会
役割	<ul style="list-style-type: none"> ・学校運営の改善を図るため、学校が定めた教育目標の達成に関する学校評価について有識者から意見を聴取する。 ・意見を反映させ、学校運営の改善措置を講ずる。

2. 外部人材である構成員の一覧表

前職又は現職	任期	備考（学校と関連する経歴等）
岩手県立大学総合政策学部教授	令和5年6月～令和6年3月	学識経験者
岩手県高等学校教育研究会農業部会長	令和5年6月～令和6年3月	学識経験者
J Aいわてグループ農業担い手サポートセンター長	令和5年6月～令和6年3月	農業関係機関
岩手県認定農業者組織連絡協議会会長	令和5年6月～令和6年3月	農業関係機関
岩手県農業農村指導士協会会長	令和5年6月～令和6年3月	農業農村指導士
岩手県農村青年クラブ連絡協議会会長	令和5年6月～令和6年3月	青年農業者
岩手県立農業大学校同窓会会長	令和5年6月～令和6年3月	卒業生代表（卒業生）
岩手県立農業大学校父母の会会長	令和5年6月～令和6年3月	父母等代表（父母等）
(備考)		

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	岩手県立農業大学校
設置者名	岩手県

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。</p>		
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業計画の作成について 履修科目毎に、授業形式や学習事項、到達目標、成績評価方法等を記載した授業計画を作成し、各年度の内容について、学生や職員等に周知している。 授業計画の公表について 3月下旬に作成し、岩手県立農業大学校ホームページにて公表している。 https://www.pref.iwate.jp/agri/noudai/gakkosyokai/2001554/index.html 		
授業計画書の公表方法	農業大学校ホームページ	
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>		
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要) 「岩手県立農業大学校校則」、「本科教育要領」及び「成績処理内規」において、成績評価及び卒業認定をしている。</p> <p>(1) 講義について</p> <p>① 成績の評価は、各履修科目とも、授業計画(シラバス)で設定した成績評価の方法に基づき、定期試験の成績や出席状況、レポート等により100点満点で行い、80点以上を「優」、65点以上を「良」、50点以上を「可」、50点未満を「不可」としている。</p> <p>(2) 実習について</p> <p>① 実習の評価は、100点満点で行い、80点以上を「優」、65点以上を「良」、50点以上を「可」、50点未満を「不可」としている。</p> <p>② 評価項目については以下のとおり。</p>		
評価項目	評価割合	摘 要
ア 平常点	40%	平常点 出席状況：50% 減点法遅刻1回：0.5点 欠席1時間につき：1点 参加の状況：50%
イ 習熟度	60%	習熟度 技術・技能の到達度 計画作成・発表・伝達の能力 レポート・小テスト等

(3) 卒業研究について

- ① 卒業研究の評価は、100点満点で行い、80点以上を「優」、65点以上を「良」、50点以上を「可」、50点未満を「不可」としている。
- ② 評価項目については以下のとおり。

評価項目	評価割合	摘 要
ア 平常点	40%	調査・検査、データ整理、文献考証等の取組状況
イ 論文	60%	目的設定と成績、理論構成と表現、内容等

上記の(1)～(3)等の結果を職員会議(成績判定会議)で判断のうえ、適正に評価し、単位認定している。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

- ・ 成績評価：定期試験、学習態度、出席状況を総合して行う。
- ・ 成績評価の実施時期：前期(9月、10月)及び後期(2月)
- ・ 成績分布状況の把握：履修科目の成績評価を点数化し、全科目の合計点の平均を算出
- ・ 岩手県立農業大学校ホームページにて公表
https://www.pref.iwate.jp/agri/res/projects/project_agri/page/002/001/554/r02seisekihyouka.pdf

客観的な指標の算出方法の公表方法	農業大学校ホームページ
------------------	-------------

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

[卒業の認定方針]

- ・ 岩手県立農業大学校ディプロマ・ポリシーのとおり。
(岩手県立農業大学校ホームページで公表)
https://www.pref.iwate.jp/agri/res/projects/project_agri/page/002/001/554/r02diplomapolicy.pdf
 - ・ 所定の履修科目を履修した学生に対し、教職員会議(成績判定会議、進級・卒業判定会議)を経て、校長が単位取得を認定し、卒業の認定を行う。
- [卒業の要件・判定の手順]
- ・ 卒業に必要な所定の単位数は「農業大学校条例施行規則第5条」で定めている。
 - ・ 卒業の認定については、所定の履修科目を履修した学生に対し、校長が卒業を認定する旨を「農業大学校校則第7条」で定めている

卒業の認定に関する方針の公表方法	岩手県立農業大学校ホームページ
------------------	-----------------

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	岩手県立農業大学校
設置者名	岩手県

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	
収支計算書又は損益計算書	
財産目録	
事業報告書	
監事による監査報告（書）	

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
農業		本科	農産園芸学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	単位時間/単位 経営科毎下記のとおり	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			単位時間/単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
100人		68人	0人	8人	4人	12人	

農産園芸学科 経営科別内訳
農産経営科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
農業		本科	農産園芸学科 (農産経営科)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	海外農業研修選択 2,445時間/107単位 国際農業選択 2,415時間/107単位	海外 1,185時間 国際 1,155時間 /77単位	45時間 /3単位	1,290時間 /31単位	時間 /単位	30時間 /1単位
			海外農業研修選択 2,550時間/112単位 国際農業選択 2,520時間/112単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
農産園芸学科の内数		21人	0人	農産園芸学科の内 数	農産園芸学科の内 数	農産園芸学科の内 数	

野菜経営科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
農業		本科	農産園芸学科 (野菜経営科)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	海外農業研修選択 2,445時間/107単位	海外 1,185時間 国際 1,155時間 /77単位	45時間 /3単位	1,290時間 /31単位	時間 /単位	30時間 /1単位
		国際農業選択 2,415時間/107単位	海外農業研修選択 2,550時間/112単位 国際農業選択 2,520時間/112単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
農産園芸学科の内数		25人	0人	農産園芸学科の内 数	農産園芸学科の内 数	農産園芸学科の内 数	

果樹経営科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
農業		本科	農産園芸学科 (果樹経営科)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	海外農業研修選択 2,445時間/107単位	海外 1,185時間 国際 1,155時間 /77単位	45時間 /3単位	1,290時間 /31単位	時間 /単位	30時間 /1単位
		国際農業選択 2,415時間/107単位	海外農業研修選択 2,550時間/112単位 国際農業選択 2,520時間/112単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
農産園芸学科の内数		15人	0人	農産園芸学科の内 数	農産園芸学科の内 数	農産園芸学科の内 数	

花き経営科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
農業		本科	農産園芸学科 (花き経営科)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	海外農業研修選択 2,445時間/105単位	海外 1,140時間 国際 1,110時間 /74単位	45時間 /3単位	1,200時間 /29単位	時間 /単位	165時間 /4単位
		国際農業選択 2,415時間/105単位	海外農業研修選択 2,550時間/110単位 国際農業選択 2,520時間/110単位				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
農産園芸学科の内数		7人	0人	農産園芸学科の内 数	農産園芸学科の内 数	農産園芸学科の内 数	

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
農業		本科	畜産学科	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	時間／単位 (経営科毎下記のとおり)	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
			(経営科毎下記のとおり)				
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
40人		23人	0人	4人	3人	7人	

畜産学科 経営科別内訳
酪農経営科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
農業		本科	畜産学科 (酪農経営科)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	海外農業研修選択 2,475時間／111単位 国際農業選択 2,445時間／111単位	海外 1,245時間 国際 1,215時間 /81単位	45時間 /3単位	1,200時間 /29単位	時間 /単位	30時間 /1単位
			海外農業研修選択 国際農業選択		2,520時間／114単位 2,490時間／114単位		
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
畜産学科の内数		8人	0人	畜産学科の内 数	畜産学科の内 数	畜産学科の内 数	

肉畜経営科

分野		課程名	学科名	専門士	高度専門士		
農業		本科	畜産学科 (肉畜経営科)	○			
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	海外農業研修選択 2,475時間／111単位 国際農業選択 2,445時間／111単位	海外 1,245時間 国際 1,215時間 /81単位	45時間 /3単位	1,200時間 /29単位	時間 /単位	30時間 /1単位
			海外農業研修選択 国際農業選択		2,520時間／114単位 2,490時間／114単位		
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
畜産学科の内数		15人	0人	畜産学科の内 数	畜産学科の内 数	畜産学科の内 数	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 授業方法 各経営科の生産から販売に至る実際の流れに沿って学校内外の教材を活用し進める。（講義、実習、実験、事例研究） 履修科目別教育内容 <ul style="list-style-type: none"> ア 教養科目（人文社会系、自然科学系） イ 学科専門科目（農業生産技術、流通・経営管理技術、農村生活文化） ウ 経営科専門科目（経営科ごとの専門分野における生産技術、流通、経営管理技術、専攻実習、卒業研究） 年間授業計画 <ul style="list-style-type: none"> 1年次：一般教養及び農業、農村社会に関する専門科目の学習視点を養成 2年次：より高度な理論及び専門技術を履修し、実践プロジェクトを通して生産・経営の総合的技術力の向上
成績評価の基準・方法
<p>（概要）</p> <p>定期試験、学習態度、出席状況を総合して行う。</p> <p>成績判定会議の実施時期 前期（9月、10月）及び後期（2月）</p>
卒業・進級の認定基準
<p>（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 岩手県立農業大学校ディプロマ・ポリシーのとおり。 （岩手県立農業大学校ホームページで公表） https://www.pref.iwate.jp/agri/res/projects/project_agri/page/002/001/554/r02diplomapolicy.pdf 所定の履修科目を履修した学生に対し、教職員会議（成績判定会議、進級・卒業判定会議）を経て、校長が単位取得を認定し、進級・卒業の認定を行う。 進級、卒業に必要な単位数は以下のとおり。 農産園芸学科（花き経営科除く）・・・進級 60 単位、卒業に必要な単位 107 単位 農産園芸学科（花き経営科）・・・進級 59 単位、卒業に必要な単位 105 単位 畜産学科・・・・・・・・・・・・・・・・進級 64 単位、卒業に必要な単位 111 単位
学修支援等
<p>（概要）（概要）</p> <ul style="list-style-type: none"> 基礎学力の定着支援 基礎学力調査を 4 月に実施、その結果に基づき教育指導委員会において数的処理の課外授業を実施し基礎学力の定着を支援する。 プロジェクト学習への指導 課題解決プロセスの取得及び応用力の向上のため、プロジェクト学習として卒業研究に取り組んでいるところである。 教員において学生個々の課題設定や研究企画、実施、成果発表、報告書作成などの一連の支援を実施する。 学生支援相談チームの設置及び相談、指導等対応 学生個々の目指す進路の実現に向け、特別な支援を必要とする学生への対応を行うため、学内に学生相談支援チームを設置する。

学生の個別相談に応じるほか、学内での情報共有を図り、必要に応じ専門機関に協力を依頼するなど、ケースに沿った対応を図る。

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
農産園芸学科			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む。）	その他
33人 (100%)	2人 (6.1%)	30人 (90.9%)	1人 (3.0%)
(主な就職、業界等) 農業(自家就農)、農業法人就職(雇用就農)、農業関係団体、農業関連企業			
(就職指導内容) <ul style="list-style-type: none"> 進路希望アンケートの実施（年3回）による個別カウンセリング 教養科目「教養基礎演習」の実施による実践的な就職活動指導 面接指導等の実施 無料職業紹介事業 			
(主な学修成果（資格・検定等）) 日本農業技術検定(2級)2人、(3級)3人 / 大型特殊自動車免許6人（うち農耕用限定1人） / けん引2人（うち農耕用限定1人） / アーク溶接7人 / ガス溶接11人 / フォークリフト運転技能14人 / 小型車両系建設機械6人 / 毒物劇物取扱者3人 / 危険物取扱者（乙4）6人 【花き経営科のみ】 フラワー装飾技能証 3人			
(備考)（任意記載事項）			

卒業生数、進学者数、就職者数（直近の年度の状況を記載）			
畜産学科			
卒業生数	進学者数	就職者数 （自営業を含む）	その他
16人 (100%)	0人 (0%)	16人 (100%)	0人 (0%)
(主な就職、業界等) 農業(自家就農)、農業法人就職(雇用就農)、農業関係団体、農業関連企業			
(就職指導内容) <ul style="list-style-type: none"> 進路希望アンケートの実施（年3回）による個別カウンセリング 教養科目「教養基礎演習」の実施による実践的な就職活動指導 面接指導等の実施 無料職業紹介事業 			
(主な学修成果（資格・検定等）) 日本農業技術検定(2級)1人、(3級)6人 / 大型特殊自動車免許12人（うち農耕用限定3人） / けん引8人（うち農耕用限定5人） / アーク溶接3人 / ガス溶接9人 / フォークリフト運転技能8人 / 小型車両系建設機械3人 / 危険物取扱者（乙4）2人 / 家畜人工授精師15人 / 家畜商3人 / 2級認定牛削蹄師4人			
(備考)（任意記載事項）			

中途退学の現状		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
102 人	2 人	2.0%
(中途退学の主な理由) 一身上の都合		
(中退防止・中退者支援のための取組) ・ 学生支援相談チームの設置及び相談、指導等対応 ・ スクールカウンセラーを設置し、学生へのカウンセリングを実施		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
農産経営科	5,650 円	118,800 円	790,000 円	その他は学生諸経費 (1年次)
野菜経営科	5,650 円	118,800 円	790,000 円	
果樹経営科	5,650 円	118,800 円	810,000 円	
花き経営科	5,650 円	118,800 円	820,000 円	
酪農経営科	5,650 円	118,800 円	770,000 円	
肉畜経営科	5,650 円	118,800 円	750,000 円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
農業大学校条例により、授業料等の全部または一部の免除について規定あり。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) ・ 岩手県立農業大学校ホームページにて公表 https://www.pref.iwate.jp/agri/noudai/gakkosyokai/2001554/index.html
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制)
学校評価の実施概要 ・ 学校評価アンケートの実施 (2月) ・ 主要達成目標に関する自己評価を実施 (6月) ・ 自己評価結果に基づき外部評価懇談会により外部評価を実施 (2月) ・ 自己評価及び外部評価の結果を公表 (3月) ・ 外部評価結果に基づき学校運営改善を実施 (随時)
学校評価項目 農業大学校業務方針のうち、主要課題達成項目 ・ 新規就農者の確保、育成 ・ 多様な担い手の育成 ・ 農大の機能強化推進
学校評価アンケートの項目、対象

上記主要課題達成項目のうち、新規就農者確保、育成及び農大の機能強化推進に関する項目について基礎資料を得るため、細項目 24 項目を設定し、それぞれ学生、保護者、職員にアンケートを実施

評価委員会の構成

岩手県立農業大学校外部評価懇談会運営要領第 3 により、次の職にある者に委嘱している。

- ・ 岩手県立大学総合政策学部教授
- ・ 岩手県高等学校教育研究会農業部会長
- ・ J Aいわてグループ農業担い手サポートセンター長
- ・ 岩手県認定農業者組織連絡協議会長
- ・ 岩手県農業農村指導士協会会長
- ・ 岩手県農村青年クラブ連絡協議会長
- ・ 岩手県立農業大学校同窓会長
- ・ 岩手県立農業大学校父母の会長

学校評価アンケートの活用

外部評価懇談会の意見を反映し、学校運営改善を実施

学校関係者評価の委員

所属	任期	種別
岩手県立大学総合政策学部教授	令和 5 年 11 月～令和 6 年 3 月	学識経験者
岩手県高等学校教育研究会農業部会長	令和 5 年 11 月～令和 6 年 3 月	学識経験者
J Aいわてグループ農業担い手サポートセンター長	令和 5 年 11 月～令和 6 年 3 月	農業関係機関
岩手県認定農業者組織連絡協議会長	令和 5 年 11 月～令和 6 年 3 月	農業関係機関
岩手県農業農村指導士協会会長	令和 5 年 11 月～令和 6 年 3 月	農業農村指導士
岩手県農村青年クラブ連絡協議会長	令和 5 年 11 月～令和 6 年 3 月	青年農業者
岩手県立農業大学校同窓会長	令和 5 年 11 月～令和 6 年 3 月	卒業生代表(卒業生)
岩手県立農業大学校父母の会長	令和 5 年 11 月～令和 6 年 3 月	父母等代表 (父母等)

学校関係者評価結果の公表方法

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

- ・ 岩手県立農業大学校ホームページにて公表
<https://www.pref.iwate.jp/agri/noudai/gakkosyokai/2001554/index.html>

第三者による学校評価 (任意記載事項)

c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

- ・ 岩手県立農業大学校ホームページにて公表
<https://www.pref.iwate.jp/agri/noudai/index.html>

